発行・いのちのことば社　©クリスチャン新聞　2009年10月11日発行（月4回日曜発行）　通巻第2039号　（1960年12月10日第３種郵便物認可）

■編集部【e-mail】cs-edit@wlpm.or.jp【TEL】03-3291-7854　■購読課【e-mail】cs-read@wlpm.or.jp【TEL】03-3291-8524【FAX】03-3291-6700

◆THE CHRISTIAN◆
クリスチャン新聞
http://jpnews.org

2009年10月11日号
1部　225円（税込）

今週の記事

教界ニュース …2、3
ビジネス …4
情報クリップ …5
日本宣教地図 …6,7
教会学校 …10
クリスチャンライフ …11
教会 cya cya church …12
フィリピンを豪雨襲う ゴミ山の教会も被害 ……2
アイヌ語翻訳 知里幸恵記念館来秋開館 ……2
将棋ビル建てたクリスチャン棋士……4
子どもの「危機」 教会も対応苦慮 ……11
平日も地域に解放 会堂をフル活用……12

■定期予約購読料・1部（税含、前払い）

	紙代	送料	合計
● 3か月…	2,700円＋	480円＝	3,180円
● 6か月…	5,400円＋	960円＝	6,360円
●12か月…	10,800円＋	1,920円＝	12,720円

■海外・1部12か月（非課税、送・手数料含）
船　便（各国共通）16,464円
航空便（地帯別）　18,960円～22,992円
振替口座00150-8-101512いのちのことば社ジャーナル出版事業部購読
※お申し込み・お問い合わせは上記購読課まで。
※便利な口座自動引き落としもご利用下さい。
いのちのことば社ジャーナル出版事業部
〒101-0062東京都千代田区神田駿河台2-10CCビル5F

第５回日本伝道会議
危機の時代こそ宣教協力を

「協」教派的伝道 模索を提言

「危機の時代の宣教協力―もっと広く、もっと深く―」をテーマに、第5回日本伝道会議（＝JCE5、原田憲夫実行委員長、中島秀一会長）が9月21～24日、札幌コンベンションセンター（北海道札幌市）で開催された。全国各地、海外から2千人を超える参加者が登録。今会議は信徒の参加を促そうと大型連休に日程を組み、参加者のうち3分の1が信徒だった。

（関連記事10面。3面に「札幌宣言」全文）

竿代照夫氏

山口陽一氏

日本伝道会議はこれまで、日本福音同盟（JEA）を軸に、1974年の第1回から00年の第4回まで8、9年おきに開催。それぞれ時代に即したテーマを掲げてきた。00年、第4回伝道会議で採択された「沖縄宣言」は、教会と時代・社会の課題に対する認識を「和解の福音」というキーワードで表し、教会とキリスト者の使命を明確にした。しかしその後、日本および世界の情勢は変動。日本宣教も決して楽観視できる状況でなく、むしろ「危機の時代」（エレミヤ14・19）に直面しているとして、今会議ではその問題意識をもちつつ、開国に伴うプロテスタント宣教開始から150年を迎えることを意識したテーマを設定。「次世代を担う人々・青年の力を集め、先達から伝道の熱心と経験を学び、洞察する」、「現代人の魂の渇きを満たし、現代社会の問題を根本的に解決し変革するのは、キリストの福音であることを確信し、いかに生きるべきかを指し示す」、「新しい時代を拓くために、すでになされている教会協力・宣教協力をさらに広く、さらに深く進める」を基本理念に掲げた。

伝道会議初日のオープニング「よさこいソーラン」では、「南中魂道（なんちゅうそうらん）～Soul Line～極（きわ）め組」、「夢鼓道（ゆめこどう）大地21」の2つのチームが演舞を披露、参加者を歓迎した

今会議の特徴の一つには、既に取り組みが進められている宣教協力の各分野を、平和問題、教会教育、福祉、女性、信徒活動、ディアスポラなど15のプロジェクトとして実施。これは、今会議のコンセプトを一過性で終わらせるのでなく、会議前から会議の後まで継続して取り組み続け、具体化していくことを図ったもの。会期中はほかに、計32の分科会、9つのシンポジウムのほか、ナレンドラ・ジョン氏（インド・フリーメソジスト教会監督）を招いての聖書講解、聖会、宣教大会など充実した内容のプログラムが実施された。

「宣教150年」教会の罪も見据え

21日の基調講演で「日本開国とプロテスタント宣教150年」と題して語った山口陽一氏（東京基督神学校校長）は、プロテスタント宣教開始以前のカトリック信徒の戦い、宣教師、派遣先の教会、キリスト教を根付かせてきた信徒など、先達たちの働きについて神への感謝を述べつつ、天皇制国体に埋没したプロテスタント教会の「致命的過ち」を悔い改めとして指摘。

「この危機の時代における宣教のため、聖書信仰と福音主義に立ち、戦時下の罪を悔い改めるプロテスタント教会の超教派的協力が切に願われる。時代を識別する信仰の目で刈り入れを待つ畑を見渡し、出て行きましょう」と締めくくった。

「危機の時代における宣教協力―宣教協力の理念と実践―」と題して語ったJCE5企画推進プログラム局長・竿代照夫氏（イムマヌエル綜合伝道団代表）は、民族間対立、地球環境悪化、日本の右傾化、経済不況、キリスト教会の停滞など、「危機の時代」の今こそ宣教協力が重要、と強調。「マイチャーチイズム」（自分の教会中心主義）や「教派エゴ」（自らの教派を絶対視）、逆に教派を否定することの危険性を指摘し、「教派をキリストの肢の一つと捉え、互いの特色と強調点を認め合い、尊敬を払いながら、しかし、協力できる分野で協力していく『協』教派的伝道を模索していくべきでは。私たちが本当の意味で一つとなること（ヨハネ17・20）が、伝道の進展の鍵」と促した。

伝道会議最終日には「札幌宣言」を採択。この危機の時代にこそ神に頼り、宣教協力を進めること、2016年の第6回日本伝道会議に向け、それぞれの分野で具体的な取り組みを進めることを確認した。【藤野多恵】

コロンビア

暴漢3人が牧師殺害

【CJC＝東京】信仰の自由を中心にした人権擁護団体「クリスチャン・ソリダリティ・ワールド・ワイド」によると、内戦が続いているコロンビア西北部コルドバ県で9月6日、国際フォースクエア福音教団のラファエル・ヴェラスケス牧師が、覆面の3人に射殺された。モンテリバノ村での礼拝後、武装した3人が自宅に押し入り、夫人と教会青年6人の面前で射殺したという。

同国全土で武装勢力による組織的な宗教迫害が起きており、信仰の自由が脅かされている。

『リフォームド神学事典』出版記念
ドナルド・マッキム博士
公開講演会
「今日の習文化における教会の務め」
日時：10月9日（金）
講演18:00
会場：早稲田奉仕園 スコットホール
入場料：1,000円
●主催
日本キリスト教全神学校
いのちのことば社出版事業部
＊お申し込み、詳細のお問い合わせはいのちのことば社出版事業部まで。

リフォームド神学事典
ドナルド・マッキム編
カルヴァン主義・改革派伝統に属する重要項目176を厳選し、丁寧な解説を加える。
●A5判　上製箱入　450頁
定価6,510円

秋の新刊

たちまち重刷！

三浦綾子 100の遺言
込堂一博 著
三浦綾子の書作から、没後10年を経てもなお響いてくる100の言葉を厳選。晩年の三浦綾子と親しく接した著者のエッセイを添えた。
●B6変　224頁　定価1260円

舟から出て、水の上を歩いて…
信仰という冒険への招待
ジョン・オートバーグ 著
上野五男、白岩正明 訳
あなたにとって「舟」とは何か。ペテロの水上歩行の記事を題材として、信仰生活の新たな挑戦を勧める説教。全米70万部突破！
●四六判　336頁　定価2100円

幸福な死を迎えたい
カルティア・ブックス　栄光病院ホスピスの現場から　下稲葉康之 著
多くの人たちを看取ってきた院長が、患者さんたちの姿と言葉を紹介しながら、終末的な営みであるキリストの祝福を伝える。
●B6変　160頁　定価1050円

乳がんだって 生きていく あたし
クリバリ ユミコ 著
32歳で乳がん発覚。7年目の再発。治療しながら2人娘を育てるシングルマザーの疾風怒濤の日々を綴ったまんがエッセイ。乳がん情報も満載！
●A5判　128頁　定価1365円

ベー・チェチョル
奇跡の歌
声を失った天才テノール歌手の復活
「神は私にタラントを与えてくださり、それを一度奪い、そして再び与えてくださった。」本文より
●四六判　上製　128頁　本体1400円
出版記念 全国リサイタルツアー情報
♪10/10(土)、12(月)　東京
♪10/15(水)　仙台
♪10/21(水)　北九州
♪10/23(金)　名古屋
♪10/26(水)　大阪
＊詳細情報は弊社HPまたはお電話にて。
http://wlpm.or.jp/　Tel.03-5341-6927
今、注目されています！

NHK、フジテレビ、「月刊PHP」、「朝日新聞」、「産経新聞」、「AERA」、「週刊女性」等、報道を通じて多くの感動を呼んだ
ベー・チェチョル、初の自伝
甲状腺がんで声を失いながらも、奇跡的復活を遂げた韓国人テノール歌手、ベー・チェチョル。治療と祈り、耳鼻を開けた決断、そして歌の舞台復帰。失ったからこそ与えられた「歌声」とは――。

いのちのことば社　〒164-0001 東京都中野区中野2-1-5　TEL.03-5341-6920　FAX.03-5341-6921　URL http://www.wlpm.or.jp

引用の聖書本文は、断りのない限り新改訳聖書第3版を使用しています©新日本聖書刊行会